

2019年12月16日

博報堂、2020年春に「UNIVERSITY of CREATIVITY」を開設 「未来創造の技術」としてのクリエイティビティを議論・研究・実験する 産官学・文理芸・社内外の壁を超えた創発ラーニングプラットフォームへ

株式会社博報堂(本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸)は、多様な関係者とともに未来創造の技術としてのクリエイティビティを議論し、研究し、社会実験していく場として、「UNIVERSITY of CREATIVITY(ユニバーシティ・オブ・クリエイティビティ)」(略称、UoC)を2020年春に開設することを決定いたしました。

[UoC WEB サイト] <https://uoc.world/>

博報堂は「クリエイティビティ」を通じて社会に新しい価値を生み出すことを目指して活動を行ってきました。その領域は広告・マーケティング産業を中心としてきましたが、人工知能やビッグデータ、スマホの普及に象徴されるような文明のデジタル化・機械化が一気に加速する今こそ、「人類が持つクリエイティビティの意義と可能性」をもう一度大きく捉え直し、広告業界を超えて社会全体に活用していく必要があると考えます。この考え方のもと、クリエイティビティを「未来創造の技術」と捉えて包括的に議論し直し、研究し、その知見を世界の課題解決に役立てていくためのソーシャルラーニングプラットフォームとしてUoCを開設いたします。

UoCの最大の特徴は、社会に向けて場を開くことにより、産官学、文理芸、社内外の壁を超えた「多様なクリエイティビティのぶつかり合い」を生み出していくことにあります。＜対話セッション＞では、「すべての人は、生まれながらにして、創造的である」という信念のもと、国籍、職業、年齢、ジェンダーを超えて集まる多彩なカタリストと参加者たちの対話によって新時代のクリエイティビティを共有し、＜基礎研究・応用研究＞では学術研究者と企業のR&D担当者、テクノロジストやデザイナーが議論を重ねながら社会と経済の成長のためのクリエイティビティを探究し、＜社会実験プロジェクト＞では大胆な産官学民の連携によって新しい文化経済圏の創出や仕組みづくりに取り組んでいきます。

UoCは企業内大学ではなく、社会人や学生を問わず、すべての人が参加可能なオープンプラットフォームになります。博報堂本社(東京都港区赤坂 赤坂 Biz タワー)内に開設するスペースは、訪れた方々にさまざまな刺激と創発的な出会いをもたらします。また、UoCプロジェクトのかたちで、いろいろな街角にも飛び出していく予定です。

2020年春の開校に向けて、プログラムの詳細設計、基礎研究の開始、研究員の社内公募、建設工事などを順次開始します。

UoCが多くの人々とともに新たな興奮と希望を抱きながら、社会に未来創造の「渦」を生み出していくことを目指して、準備を進めてまいります。

UNIVERSITY of CREATIVITY オープンに向けて

コンピューテーショナルな時代に、人類に残された最大の魅力、それは「Creativity=創造性」です。その非言語性と領域横断性からこれまで研究されづらかった創造性を、UNIVERSITY of CREATIVITY では、包括的に愛し、議論し、企画し、実験していきます。

世界を見回すと、素晴らしい美大もデザインスクールも数多くありますが、「Creativity」というテーマに特化して、世界の構造を捉え直そうという専門機関はないと思います。それは、ぼくらにとっても挑戦です。

Creativity というやんちゃな怪物を、数値化できるなんて、もちろん考えていませんし、それだけで野暮です。しかし、Creativity を、だれもが本来持っている「価値創造の源泉」と捉えなおすとき、その力は、すべての企業、政府、自治体、学校にきっと新しい発想を与えることができると信じています。また、Creativity は、生きる喜びそのもの、つまり、人間賛歌に直結します。そんなひとりひとりの人生の鼓舞から、新しい社会や文化の在り方が生まれることを期待します。

「すべての人は、生まれながらにして、創造的である。」

ぼくはそう信じています。では、どうしたらその面白さや美しさを、もっと助長できるのでしょうか。あるいはなにが邪魔をして、息苦しさを生むのでしょうか。

UoC のオープンは、春です。

まずは多種多様なひとが入り乱れる、ちょっとファンキーな場になってほしいんです。入試とか、そういうものがあるいわゆる「一般大学」ではなく、チルアウトな場にしていきますので、肩の力を抜いてどうぞお楽しみに。

UNIVERSITY of CREATIVITY 準備リーダー
市来健太郎



[プロフィール]

市来健太郎 (いちき・けんたろう)

UNIVERSITY of CREATIVITY 準備リーダー

博報堂 シニアクリエイティブディレクター

「恋する芸術と科学」ラボ主宰

「F3 | 発酵醸造未来フォーラム」主宰

1998年博報堂入社。CMプランナーを経て、美術から映像、音楽、建築、食、都市設計、プログラミングまで多岐なメンバーで構成される『恋する芸術と科学』ラボを設立。理性と感性の衝突によって非連続成長を設計するプロジェクトを、多くの企業経営陣や自治体と実施。自然科学系の大学や美術大学とのコラボレーション多数。2014年より世界経済フォーラム(ダボス会議)のヤング・グローバル・リーダーズに選出。東京藝術大学大学院美術修士課程修了(先端芸術表現)。



(UoC キャンパスイメージ)

UoC の活動内容・参画等に関するお問い合わせ： info@uoc.world (代表メールアドレス)

報道関係者様からのお問い合わせ： 博報堂広報室 長谷川 山野 03-6441-6161